

新和風のすすめ

秋岡芳夫が提唱する低座の暮らし



1月23日(土) ~ 2月23日(火・祝)

10:00~19:00

水曜・木曜定休日

高度成長時代の大量消費が当たり前の時代にいち早く警鐘を鳴らし、「消費者をやめて愛用者になろう」と提言していた工業デザイナーの秋岡芳夫。彼は日本人の生活風土に適した暮らし方の提案を沢山行っています。そのひとつが「一机多用(いっきたよう)」です。

ダイニングテーブルを食事だけではなく、くつろぎのスペースとして活用できれば、大きなソファが不要になり、限られた空間をすっきり、広々と使うことができます。

一机多用に適したテーブルの高さは61cmがベスト。それにあわせる椅子は、座面が思いっきり広くて高さはやや低め(座面高38cm前後)のほうが気分がいい。なぜなら靴を脱ぎ、器を手を持って食事するのが日本人だから——。秋岡芳夫の考えを具現化したモノ・モノの低座椅子が期間限定で当店に集結します。畳での床座とも従来のダイニングセットとも違う「新和風」の暮らしを、この機会にぜひ体感してください。



© 堂六雅子

秋岡芳夫(あきおかよしお)
1920年熊本県宇城市生まれ。
東京高等工芸学校(現・千葉大学工学部)卒業。1953年に金子至、河潤之介らとKAKデザイングループを設立。1970年にグループモノ・モノを結成。「消費者から愛用者へ」「裏作芸」といった持論を実践し、日本各地で手仕事を通じた地域再生に尽力した。1997年没。



モノ・モノ
工業デザイナーの秋岡芳夫が1970年に開設した生活デザイン運動の拠点。作り手、使い手、売り手の三者の関係を見直し、三者協力でいいモノを作るべく、東京・中野で活動を続けている。

2020年の秋岡芳夫生誕100周年とグループモノ・モノ結成50周年を記念して『新和風のすすめ』が復刊されました。



秋岡芳夫の代表作「男の椅子」、豊口克平の「トヨさんの椅子」など、モノ・モノオリジナルの低座椅子とテーブルが一堂に会します。この期間中に低座の暮らしを是非体感してみてください。

ギャラリートーク



『新和風のすすめ』復刊記念トークイベント

～秋岡芳夫が唱える「一机多用」の暮らしとは～

2月21日(日)

2月7日(日) 14:00～15:30

定員：10名(予約制)

参加費：無料



参加者全員に『新和風のすすめ』を差し上げます。



菅村大全 (モノ・モノ主宰)
1973年長崎県出身。カタログ雑誌の編集部を経て、フリーライターとして独立。2015年にモノ・モノの4代目代表に就任。



笠原嘉人 (インテリア・プロダクトデザイナー)
1961年静岡県出身。武蔵野美術大学卒業後、漆芸家の工房を経てインテリアデザイン事務所に勤務。1996年「笠原嘉人アトリエ」設立。

消費社会にいち早く警鐘を鳴らして、自ら「立ち止まったデザイナー」と名乗り、常にユーザー目線から暮らし方の提案を行ってきた秋岡芳夫。そんな彼の最晩年の著書が『新和風のすすめ』(初版1989年・2020年11月復刊)です。

日本人の感性に合った生活、自ら工夫して暮らすことの大切さ、五感、特に手から得られる触覚の重要性など、今の時代にも共感できる内容がわかりやすい言葉で綴られた1冊です。当日はモノ・モノ主宰の菅村大全さんと、家具デザイナーの笠原嘉人さんを招き、秋岡芳夫が唱える「一机多用」の暮らしの背景について解説していただきます。

ワークショップ



杉とノコギリで2WAY スツールを作ろう

2月14日(日)

1月30日(土) 13:00～17:00

定員：3名(予約制)

参加費：6,000円(税込)



DIY書籍『杉でつくる家具』の掲載作品を製作します。



講師：賀来寿史 (木工家)
家具のデザイン・製作をする従来の木工家の枠にとらわれず、知識や技能・経験を活かし、ヒト・モノ・コトに関りながら活動する新しい木工家。

秋岡芳夫ら KAK デザイングループがデザインした DIY 家具の 2WAY スツール。置き方によって高さが変わりサイドテーブルにもなるこのスツールをノコギリで木を切るところから始める本格ワークショップです。

当日は講師に木工家の賀来寿史氏をお招きし、レクチャーしていただきます。作ったスツールは持ち帰ってご自宅でお使い下さい。



interior suenaga

有限会社 インテリア末永

〒615-8224

京都市西京区上桂三ノ宮町 13-4

TEL: (075)392-2561 FAX: (075)392-2562

E-mail: info@is-kki.com

URL: https://www.is-kki.com

定休日：毎週水曜日・木曜日



イベントの詳しい情報や参加申し込みはQRコードからアクセスして下さい。

